

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2019-23727(P2019-23727A)
 【公開日】平成31年2月14日(2019.2.14)
 【年通号数】公開・登録公報2019-006
 【出願番号】特願2018-135906(P2018-135906)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 3 4 3

G 0 3 G 15/08 3 4 7

G 0 3 G 21/16 1 7 6

G 0 3 G 21/16 1 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月18日(2019.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、請求項 1 の発明は、粉体を搬送する搬送管と、搬送管に設けられ、粉体収納容器から粉体を受け入れる粉体受入口と、粉体収納容器に係止することが可能な補給装置側ロック部材とを有する粉体補給装置に装着可能な粉体収納容器において、搬送管が挿入可能なノズル受け入れ口と、粉体を一端側からノズル受け入れ口が設けられた他端側に搬送する搬送手段と、外部から駆動力が付与され、搬送手段を回転させるギアと、ギアよりも一端側に設けられ、補給装置側ロック部材に係止することが可能な一対の係止部と、を備え、係止部は、粉体収納容器が粉体補給装置に装着された状態では、一対の係止部を結ぶ仮想直線が粉体受入口が設けられている搬送管を通過することを特徴とするものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粉体を搬送する搬送管と、
 上記搬送管に設けられ、粉体収納容器から上記粉体を受け入れる粉体受入口と、
 上記粉体収納容器に係止することが可能な補給装置側ロック部材とを有する粉体補給装置に装着可能な粉体収納容器において、
 上記搬送管が挿入可能なノズル受け入れ口と、
 上記粉体を一端側から上記ノズル受け入れ口が設けられた他端側に搬送する搬送手段と、
 外部から駆動力が付与され、上記搬送手段を回転させるギアと、
 上記ギアよりも上記一端側に設けられ、上記補給装置側ロック部材に係止することが可

能な一对の係止部と、
を備え、

上記係止部は、上記粉体収納容器が上記粉体補給装置に装着された状態では、上記一对の係止部を結ぶ仮想直線が上記粉体受入口が設けられている上記搬送管を通過することを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の粉体収納容器において、

上記他端側に設けられた容器開口部を有し、

上記一对の係止部は、上記容器開口部のある側から上記ギアを超えて容器長手方向に延在する容器ロック部が備えていることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の粉体収納容器において、

上記係止部は、上記容器開口部から容器長手方向に見て、上記ギアを越えた側に有することを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の粉体収納容器において、

上記容器ロック部は、上記補給装置側ロック部材が滑動することが可能な滑動部を備えることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の粉体収納容器において、

上記ギアを覆い、かつ上記容器ロック部を有する容器カバーを備えることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の粉体収納容器において、

上記容器カバーは、上記ギアの歯面の一部を露出させるギア用開口部を備えることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 7】

請求項 2 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の粉体収納容器において、

上記容器開口部の外周面が上記粉体補給装置との位置決め部であることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の粉体収納容器において、

情報記憶装置と、該情報記憶装置を保持する保持機構とを備えてあることを特徴とする粉体収納容器。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の粉体収納容器において、

上記情報記憶装置は上記保持機構の中で移動可能に保持されていることを特徴とする粉体収納容器。